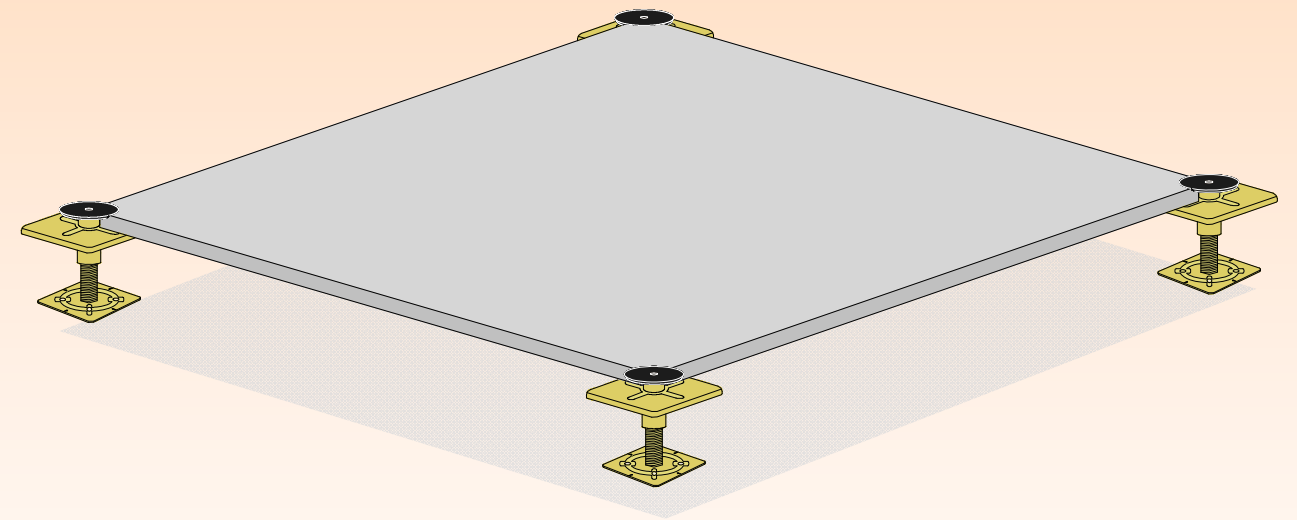


D-floor ディーフロア

オフィス用OAフロア RC(金網入り補強セメント)タイプ



ディーフロア株式会社

東京都台東区下谷3丁目4-4 三輝ビル301 TEL:03-6802-3561 FAX:03-6802-3562

●お問い合わせ・ご相談は

本カタログ掲載の内容は、製品改良等の理由により、事前の予告なしに変更される場合があります。予め、ご了承下さい。

ディーフロア株式会社

Dフロア 3000N-R 5000N-R

RC製で歩行感・耐久性・不燃性に優れた軽量パネル。
さまざまな使用環境に適應!

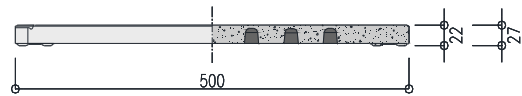
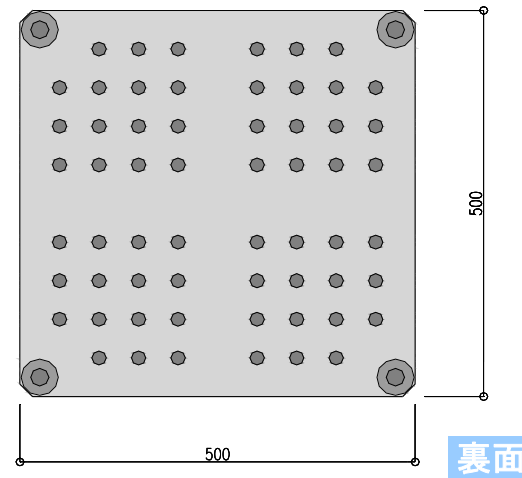
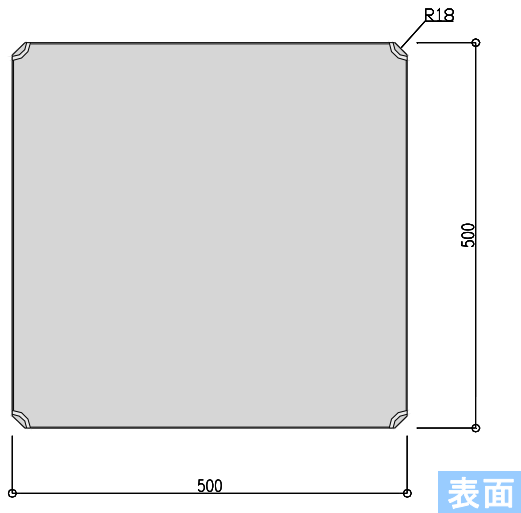
パネルの仕様

3000N-R / 5000N-R

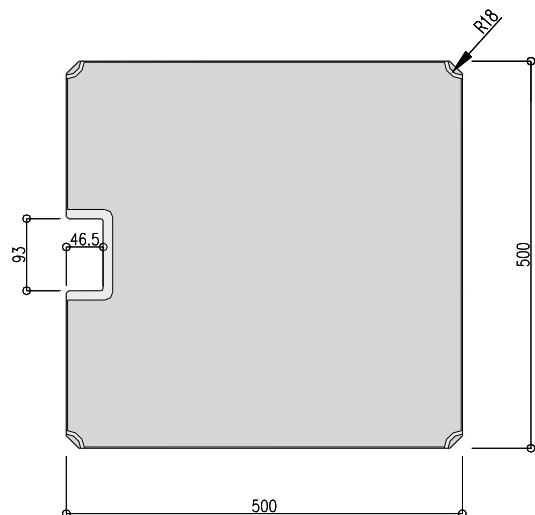


標準パネル

単位(mm)



配線パネル



品名	3000N-R	5000N-R
材質	RC(金網入り補強セメント)	
寸法	500×500×22	500×500×27
質量	12kg	14kg
積載荷重	3000N/m ²	5000N/m ²
荷重性能(中央)	3000N時 2mm以下	5000N時 2mm以下

安全、高性能なOAフロア。

性能試験

JIS A 1450

実証された性能。最先端の安全性能でオフィスを守ります。

耐震性能

従来、OAフロアの性能はJIS A 1450(フリーアクセスフロア構成素材試験方法)が標準化されていましたが、近年、振動に対する性能も求められるJIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)に改正されました。

試験項目	試験機関	評価基準
静荷重試験	財団法人 建材試験センター	JIS A 1450 - 2009
衝撃試験		
振動試験		

試験の適正化

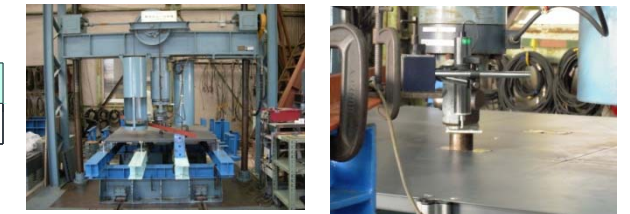
静荷重試験・衝撃試験・ローリングロード試験は試験の簡便化のため載荷位置を中心・辺中央としていましたが、施工において実際に負担がかかるわけではなく、実態に即した試験方法とするため負荷をかける場所を最弱部と定められました。

静荷重試験

JIS A 1450 - 2009

パネルを支持脚で4点支持し、φ50の荷重子を荷重試験機により荷重をかけ、たわみ量を測定。

パネル	荷重	最弱部	変形量(mm)
3000N-R	3000N	辺中央	

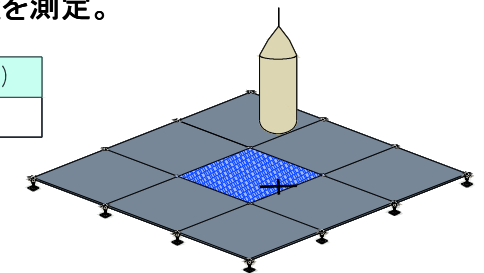


衝撃試験

JIS A 1450 - 2009

パネルを支持脚で4点支持し、30kgの砂袋(底面φ220 JIS A 1414)を所定の高さからパネル最弱部に自由落下させ、たわみ量を測定。

パネル	荷重	落下の高さ(mm)	最弱部	変形量(mm)
3000N-R	30kg	250	支持脚上部	

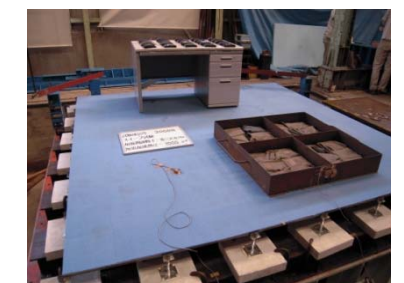


振動試験

社団法人 公共建築協会 評価基準

等分布荷重に加えワークデスクによる荷重をかけ、振動台により

パネル	入力加速度	振動数範囲(Hz)	加速時間(秒)	目視による損傷
3000N-R	1000 (1.0G)	6.0~2.6	75	



※ JIS A 1450 - 2009は新JIS試験方法
JIS A 1450 - 2003は旧JIS試験方法

■ 軽量パネルで迅速な施工。

施工手順

施工開始から完了までレイアウトの追加変更などのご要望にも、しっかりお答えします。
施工手順の簡単な流れをにご説明いたします。

床面の確認

工事着工前に、床面に凹凸がないように補修を行う。
また、コンセント類は事前に外しておく。

1

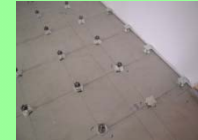
清掃

床面の凹凸を確認後清掃を行う。

2

墨出し

割付図に基き、割付墨をだす。



3

レベル設定

腰墨又は沓摺りから高さ基準を設定する。レーザーレベル・角パイプを用いて部屋全体の高さを設定し、高さが決まった支持脚は速やかに締結する。



4

支持脚固定

基準墨の交点に支持脚が来るよう位置を合わせ、フロアボンドにて支持脚をスラブに接着する。

5

パネル敷き込み

基準墨に沿ってパネルを敷き込みます。床スラブの状態によりガタツキが生じる場合があるので調節する。



6

ボーダー処理

パーティクルボードを必要寸法に切断し、納めます。ボーダー施工後はタッピングビスにて支持脚とボーダーを固定します。



7

オプション施工

必要に応じて、框・スロープを取り付ける。

8

カーペット敷き込み

9

検査・完了

10

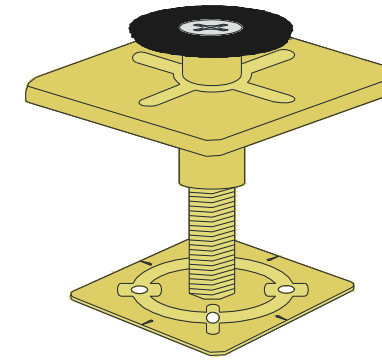
■ 専用固定ビスひとつでしっかり固定でき、施工も簡単。

支持脚

パネルの中央部、壁際の端部によって2タイプの支持脚があり、各種低床から高床まで標準60mm~300mmの支持脚があります。

支持脚共通のため、3000Nパネル(標準タイプ)と5000Nパネル(補強タイプ)のどちらも併用可能です。

標準支持脚



ボーダー支持脚

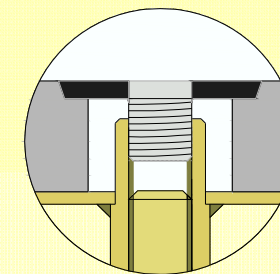


■ 標準支持脚 高さ及び調整範囲一例

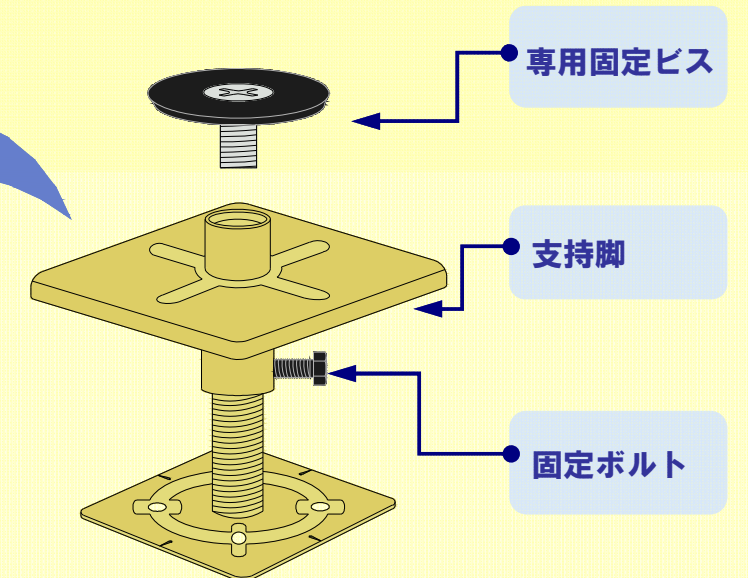
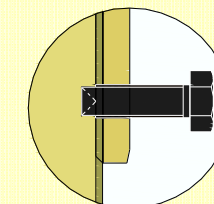
高さ(mm)	H=60	H=100	H=150	H=200	H=250	H=300
調節範囲(mm)	+10 -5	±10	±10	±15	±15	±15

※高さ及び調整範囲は表面仕上げを含んだ高さです。

■ 支持脚詳細



パネルをしっかり固定!



■ 施工環境に応じて使用するサポート部材。

使用部材

オフィス環境をサポートする使用部材。

支持脚用接着剤 ■ 支持脚を固定する支持脚用接着剤。



- 製品名 FU-7ボンド
- 容量 : 15kg, 10kg
- 包装形状 : 缶
- 梱包単位 : 15kg/1缶, 10kg/2缶
- 特徴 : 化学反応形無溶剤タイプ

JIS A 5549

F★★★★

主成分	ウレタン樹脂
適用箇所	屋内の床面、コンクリート面、防塵塗材仕上げ面 モルタル面、防水塗材仕上げ面
外観	淡黄色 ペースト状
手直し可能時間	3時間以内/23℃ (屋内)

オプション部材

必要に応じて使用するオプション部材。

クッションゴム ■ 壁際パネル設置の傷防止。

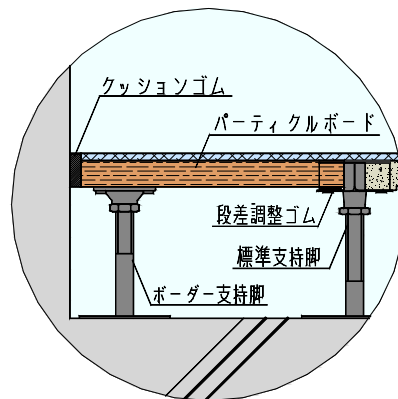


- 製品名 : クッションゴム
- 寸法 : t3×W25mm×L30mm

段差調整ゴム ■ 端部パーティクルボードの段差を調整。



- 製品名 : クッションゴム
- 寸法 : t3×W25mm×L30mm

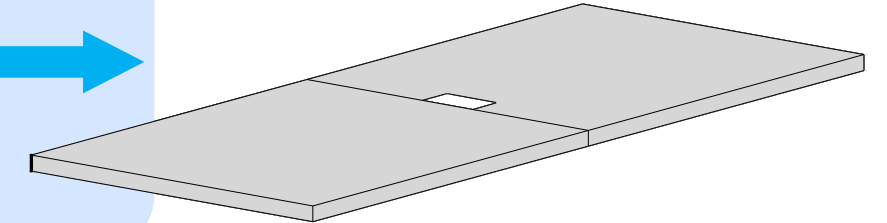
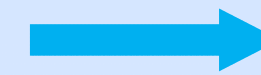
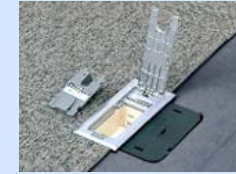


■ 形状やサイズ、オフィスのさまざまなニーズに対応。

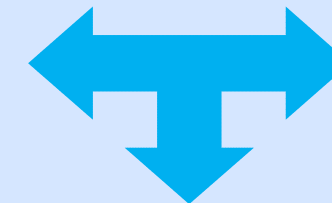
アウトレット

あらゆる配線機器にも柔軟に対応。思いのままのオフィス環境をご提案いたします。その一例をご紹介します。

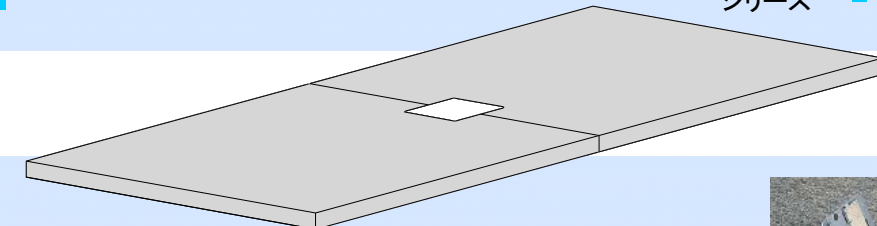
インナーコンセント (ミニシングル) ■ パナソニック電気(株)



インナーコンセント (ミニダブル) ■ パナソニック電気(株)



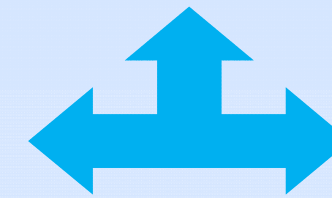
イーナEEW シリーズ ■ (株)寺田製作所



ワイヤリング機器取り付けプレート
又は
専用アダプターなどを使用



HB-12-90 ■ (株)平山製作所



SBBシリーズ ■ (株)寺田製作所



HFC-10AC ■ (株)平山製作所

※コンセント類の詳しい内容や発注につきましては、各メーカーにお問い合わせください。

パナソニック電気株式会社 配管機材事業部